

Vol10 令和元年 11月5日 (火)

～ いろいろなことがあった10月でした ～

10月21日から24日まで、2年生と一緒に沖縄修学旅行に行ってきました。直前まで台風による悪天候が心配されましたが、天候にも恵まれ、生徒たちも頑張ってくれたため、非常に順調な修学旅行でした。多くの方のお力により実現した修学旅行あり、特に民泊でお世話をしてくださった方への感謝は筆舌に尽くし難いです。関係の皆さん本当にありがとうございました。

今回の修学旅行を通じて、生徒諸君が「ひめゆりの塔」で沖縄の悲しい歴史や戦争の傷跡を見て聞いて感じたこと、民泊を通じて沖縄の方々と触れ合うことで感じたこと、美ら海水族館やマリン体験で沖縄の自然に触れることで感じたことなどは、それぞれの心の奥深くにとどまり、これからの人生に影響するものと信じています。

ところで今回、先生方が頑張ってくれていたおかげで、校長の仕事の一つとして、まちcomiのタイムライン機能を使って、機を捉えて現地の様子を報告することが可能になりました。拙い内容で申し訳なかったのですが、皆様の御感想をお寄せいただけたら幸いです。しかし、羽田到着の段階では、スマホ不調によりタイムラインでの報告が遅くなりました。御心配をおかけしたことをお詫びします。なお、この修学旅行タイムラインは11月15日をもって終了しますのでご承知おきください。

山北高等学校の修学旅行については、令和2年度入学生から修学旅行を探究活動の一部と捉え、大幅な見直しを検討しています。とりあえず、今の本校1年生は民泊を2泊とし、沖縄で暮らす方々の生活や体験活動を通じて、これまで以上に沖縄の文化や課題を自分のこととして考えられるようになります。また、今の中学校3年生以降は、修学旅行を体験するだけでなく「探究活動」として活動し、そこでの学びを戻ってからの探究活動に活かし、山北、県西地域に還元することを目的に現地での学びをより深めるためのプログラムを開発中です。

今までの体験を中心とした修学旅行から体験や楽しいだけではなく、自らが動き、深く考える学びを得られるものとしていきます。ご期待ください。

さて、新聞報道にある通り、10月31日に衝撃的なニュース報道がありました。英語の大学入試における民間試験による成績導入制度の延期です。

ちょうどその日私は、全国普通科高等学校長会総会・研究発表大会のため福井県に出張しており、そのニュースを会場で聞くことになりました。全国から来られた普通科高校の校長先生方との話の中で、学校が準備していた共通IDを始めとした様々なことが変更を余儀なくされ、どこの高校でも戸惑っていました。そのような中、とにかく受験生が不利にならないよう、校長たちで情報をしっかりと収集し、後手にならないよう対応していくことが大事であると共通の認識を持ちました。

2年生の進学希望者には、今回の発表で、受験に対する戸惑いと不安があるかと思います。しかし、学校は、様々な方法で情報を収集し、君たちが不安なく受験できるようにしていきますので、どうか学校からの指示や情報に気を付けておいて下さい。

最後に、これとは別に悲しいニュースがありました。ついこの間まで修学旅行でいた沖縄で首里城が全焼するという事件がありました。首里城は沖縄の文化歴史を代表する建物であり、ついこの間、すべての修復が終わったところでした。沖縄の方々の失望と悲しみ察するに余りあります。

そこで生徒諸君にお願いがあります。2年、3年生は再度の復興と励ましの気持ちを、民泊先のお世話になった方々に手紙やメールで伝えてください。来年度沖縄を訪問する1年生は、見ることはできなくなった首里城の歴史や沖縄の文化を勉強してください。それがお世話になった方々やこれからお世話になる方々への君たちができることの一つだと思います。その他にも自分にできること、自分がやれることを各自が考え実践してください。

11月が始まりました。生徒諸君も本年度の折り返し点はとうに過ぎているのだと自覚し、来年度の自分を想像し、これからの5か月を創造的で有意義なものとしてできるように励んでください。

着実に努力 **凡事徹底** **自学自習**